

令和5年度 腰痛予防指導者育成研修開催要項

1. 目的

介護テクノロジーを適切に活用することで利用者自身の自立を引き出し、介護職員の身体に負担の少ない介護技術の普及を推進できる指導者を育成する。

2. 実施主体 富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ とやま介護テクノロジー普及・推進センター

3. 内容（別紙1 日程表のとおり）

1) 基礎研修

- ・研修生が自施設において、利用者の移乗・移動等の介助技術を他の職員に指導できるように知識・基本的介助技術を習得する。テキストを活用し、事例を基にアセスメント方法について学ぶ。

2) フォローアップ研修

- ・基礎研修を修了した研修生の施設にて研修会を実施し、オンラインにて評価・検討する。
- ・研修生は、自施設職員をモデル役として研修会を行い、VTR撮影を行う。
- ・研修内容は、基礎研修で学んだ知識・基本的介助技術についての指導を実施する。
テーマはスライディングシート・スライディングボード・介護テクノロジーの活用の中から、取り組みたい内容を選択し事例に基づいて実施する。

4. 開催場所および開催日時

1) 基礎研修

開催場所 富山県総合福祉会館（サンシップとやま） 2階 研修室

開催日時		開催時間
1	基礎 研修	7月10日（月）
2		7月24日（月）
3		7月31日（月）

2) フォローアップ研修

開催場所：富山県総合福祉会館（サンシップとやま） 2階 研修室及びオンラインによる開催

開催日時		開催時間
1	フォロー アップ 研修	9/4(月) 14時～17時

5. 参加条件

所属施設における腰痛予防対策への取り組み意識をより高め、実践できる指導者を育成していくために、下記のとおり 1) ～ 4) の条件を満たす者とする。

- 1) 腰痛予防研修受講修了者（平成 24 年度～今年度受講予定者含む）
- 2) 基礎研修およびフォローアップ研修ともに全日程受講できる。
- 3) フォローアップ研修では、オンラインによる開催となるため環境の整う場所があること。
- 4) 「リフトリーダー養成研修」修了者及び今年度受講予定者が望ましい。
※リフトリーダー養成研修は、「臥位、座位が不安定な対象者の移乗・移動」の介護技術を学ぶ研修。
今年度は9月19日(火)20日(水) (Aコース)、9月19日(火)21日(木) (Bコース)を予定している
(詳細については別途案内)

6. 募集定員 40名とする。

7. 内 容 別紙のとおり

8. 受講料 7,000円

9. 申込み方法 当センターホームページの申し込みフォーム (Google フォーム) よりお申込みください。

[とやま介護テクノロジー普及・推進センター \(https://toyama-kaitech.jp\)](https://toyama-kaitech.jp)



10. その他
- 1) 6月2日(金)までに受講決定通知を施設長あてに送付する。
 - 2) 受講決定通知後に都合がつかなくなった場合は、必ず当センターまで連絡のこと。
 - 3) 何らかの警報が発令された場合や県からの事業自粛が出された場合、研修を延期または中止の可能性があります。その際には、当センターホームページでご案内します。また、受講決定通知を受け取られた方には別途ご連絡いたします。

令和5年度 腰痛予防指導者育成研修日程表

開催場所：富山県総合福祉会館（サンシップとやま）2階研修室

開催日時

		開催時間
1	7月10日（月）	9:00～17:00
2	7月24日（月）	9:00～17:00
3	7月31日（月）	9:00～17:00

内 容

	時間	内 容	講 師
1 回 目	9:00	挨拶・オリエンテーション 研修について ・研修内容・進め方 (講義・演習)	とやま介護テクノロジー普及・ 推進センター 所長 宮原
	9:30	「コーチングスキルを活用したスタッフへの指導技法について」	オフィス アヴァンセ代表 銀座コーチングスクール 認定講師 土屋 佳瑞 氏
1 回 目	12:00～ 13:00	休憩 (講義) 「腰痛予防対策 一疾患・障がいの理解と介護」 対象者の状況理解し自立を促す/対象者の状況を理解/腰痛を知る/対象者のアセスメント	金城大学医療健康学部 学部長 教授 木林 勉 氏 とやま介護テクノロジー普及・ 推進センター
	16:00 17:00	研修会について ・基礎研修、フォローアップ研修	推進センター 担当 宮原
2 回 目	9:00	(講義) 持ち上げない介護方法について	金城大学医療健康学部
	10:30	(演習) 「ベッド上の移動、起き上がり、立ち上がり、座位移乗の介助方法」 ・自然な身体の動きを体験 ・障害のある利用者の介助方法 ・代表例に基づき、シミュレーションを通し介助方法の教え方を学ぶ(利用者のアセスメント、介助の目的、使用する福祉用具の有用性、介助の注意点) ※ビデオ撮影した動画を活用	学部長 教授 木林 勉 氏 <指導アシスタント>
2 回 目	(12:00～ 13:00 休憩)		
	16:45～ 17:00	アセスメントシートの活用について 次回の研修について	とやま介護テクノロジー普及・ 推進センター 担当 宮原

	9:00 9:30	(演習) 事例を基にアセスメント、介助方法をシミュレーション ・アセスメント ・介助方法のシミュレーション ・発表 意見交換 ・腰痛予防指導者としての役割について 問題点、対応策について	金城大学医療健康学部 学部長 教授 木林 勉 氏 <指導アシスタント>
3 回 目	11:00 12:00～ 13:00	・フォローアップ研修の進め方、課題について 休憩 ※ビデオ撮影した動画を活用 <u>適切なアセスメントに基づき、介助方法をシミュレーション</u> <u>する。(事例を基に)</u> 事例を基に発表する。 ・アセスメント ・介助方法のシミュレーション 意見交換 ・腰痛予防指導者としての役割について 問題点、対応策について ・フォローアップ研修の進め方、課題について	金城大学医療健康学部 学部長 教授 木林 勉 氏 <指導アシスタント>
	16:30 17:00	次の研修について	とやま介護テクノロジー普及・ 推進センター 担当 宮原

令和5年度 腰痛予防指導者育成研修日程表（フォローアップ研修）

（オンライン研修）

基礎研修での学びを活用して、自施設で指導を実践、その場면을オンラインにおいて振り返ることで、指導力を高めることを目的に開催する。

開催場所：富山県総合福祉会館（サンシップとやま） 研修室
自施設の会議室等（Zoom等の使用ができる場所）

開催日時：9月4日（月）14時～17時

研修目的 研修生個々の、指導力を高める。

研修内容 研修生個々の自施設での指導場面を活用する。（動画の活用）

指導場面のテーマ1. 福祉用具と腰痛予防について説明する場面

2. スライディングシートを活用した移乗方法について説明

3. スライディングボードを利用した移乗方法について説明

*実施するテーマは基礎研修の中で決定する。

【研修の概要】

研修生が基礎研修での学びを活用して、自施設にて新任者への指導を行う。その場면을撮影した動画を活用し研修会を行う。

1	指導場面の動画 テーマ1. 2, 3
---	-----------------------

講師： 金城大学医療健康学部 学部長 教授 木林 勉 氏
城南温泉病院 作業療法士 塚田 大紀 氏

助言者： 地域リハビリ支援室・タムラ 代表 田村 茂 氏
金城大学医療健康学部 学部長 教授 木林 勉 氏
城南温泉病院 作業療法士 塚田 大紀 氏
指導アシスタント